

伊東豊雄建築ミュージアム



住所：大三島町浦戸2418
 ☎：0897-74-7220
 営：9:00～17:00
 休：月曜（祝日の場合は原則翌日振替）
 12/27～12/31
 ￥：一般840円 学生420円
 ※団体（20名以上）65歳以上は2割引
 ※高校生以下または18歳未満無料
 ※障がい者とその介助者1名無料

伊東豊雄さんの作品や
伊東建築塾による活動の展示

大三島を盛り上げる
プロジェクト

- ・瀬戸内初のワインで乾杯
- ・島のワインで誕生日を祝う「オーベルジュ」
- ・島の景色をゆったりと楽しめるモビリティ
- ・「物々交換」によって都会と島の記憶を交換 など



シルバーハット

東京にあった伊東さんの自宅を島で再現！



学芸員
山田安紀さん

山田さんのオススメPoint!

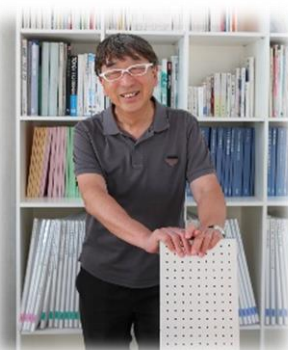
シルバーハットから眺める瀬戸内海は絶景です！冬になると、周りのかんきつ畑がオレンジ色に染まり、大三島らしい風景を見ることができます。



ここの空間は、時間が
ゆったりと流れています…

大三島への思いや将来の大三島の展望について熱く語っていただきました。

建築家 伊東豊雄さん



プロフィール

1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「台中国家歌劇院（台湾）」など。日本建築学会賞、ヴェネチア・ビエンナーレ「金獅子賞」、王立英国建築科協会（RIBA）ロイヤルゴールドメダル、プリツカー建築賞など受賞。

イヌが
好きで
柴犬を
飼って
いる

好きな食べものは
和食、お酒、焼肉、
島の牡蠣

子供の頃は
野球少年！

海外で
好きな所は
アジア

自然が大好き！

Q. 大三島のどんどころが好きですか？

A. 自然のまま開発されてないところですね。どこにいても静かで心が和みますよ。ここで海に沈む夕日を眺めていると、東京での忙しさを忘れちゃうね。

Q. 大三島に対してどのような思いがありますか？

A. 半分はこっちに住みたいと思っているよ～。小さな小屋を建てて夕日を見ながら東京から来てくれる人とゆっくりお酒を飲みたいね（笑）。今は宗方のふるさと憩の家の改修を手がけているんだけど、みんなの家のような場所をたくさん作って、島の人たちが気軽に集まっておしゃべりができるような場所が増えるといいと思う。

Q. なぜ大三島で建築塾の取組をするようになったのですか？

A. ところミュージアムの隣にもう一つミュージアムを造りたいから所敦夫さんに設計を頼まれてそこに来ているうちに「君のミュージアムでいいんだよ。」と言われたのがきっかけかな。いつの間にか来たこともない島が自分の島みたいになっちゃったよ（笑）。

Q. 大三島がこれからどういう島になったらいいと思いますか？

A. 宮浦の参道がもう少し元気になってくれたらいいな。今の自然を残しつつ、もっと面白いことがあればいいと思うな～。住む人にとっても住みやすい島にならないといけないけど、今の大三島は交通の便が悪いよね。買い物とか街までの送迎とかが簡単に行えるようになるといいと思って、ヤマハ発動機と協力してのんびり島を移動できる小型の電動モビリティを走らせる計画も立てているんだ。それには大三島を特区にしないといけないけど。また、この間はハーバード大学の学生と、大三島がどうすれば元気になるかということについて一緒に考えたんだけど、テーマパークを作ったりするような大三島を一大観光地化していくという方向は僕は違うと思っているんだ。あまりに人がたくさん来てしまっても、大三島本来の良さが失われてしまう。かといって、島に住んでいる若い世代が大学や就職で外に出て帰ってこない、島はお年寄りばかりになってしまいうね。島に住んでいる若者が帰ってきたくなるような島づくりが大事な。また、島の外からもいろんな人がやって来て活動してくれるといいな。

Q. 大三島の人たちに対するメッセージをお願いします！

A. 外の人たちや、新しいことも受け入れながらいつまでも時間に贅沢な島であってほしい。島の良さをどのように自分で自覚しながら生きていくかが大切だと思います。

